

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表: 令和6年 5月 6日

事業所名 どれみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動に応じて部屋を分けて、のびのびと活動できるスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		児童特性や活動によっては、人手不足を感じる事があります。また人手不足により活動の幅が狭くなってしまうことがあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		建物の構造上バリアフリー化が難しい面もありますが、必要に応じて対応をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日使用したおもちゃや部屋の除菌・掃除を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	60%	40%		多くの職員が参加、情報の共有ができるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年実施し、保護者の意向を把握、業務改善に繋げています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページに公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	第三者委員など外部から評価を頂いています。	業務改善まではできていない状況が続いています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	内部での研修のみではなく、外部研修にも参加しています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	利用児童や保護者からニーズを聞き取って計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	ヴァインランドや個別支援計画システムのアセスメント表を使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	必要項目を選定し、支援計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画と保護者の方のニーズに沿った支援を行うよう心がけています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	職員間で話し合い、利用児童に合わせてプログラムを考えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節の行事など固定化されたプログラムもあります。利用児からの意見も取り入れて実施しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%	児童の特性や課題に合わせて支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	児童の特性や注意点、目標、活動内容について共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%	ケース記録を作り、次の日の朝に共有や振り返りを行っています。	送迎等の都合により、その日に振り返りができないことがあります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援終了後は、必ずケース記録を作成しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	電話やオンラインなども活用しながら保護者の方へ聞き取りも行っていきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要に応じて連携を取って支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	80%	20%	現在医療的なケアが必要な児童がいませんが、他機関と連携した支援が行えるように体制を整えています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	80%	20%	現在医療的なケアが必要な児童がいませんが、他機関と連携した支援が行えるように体制を整えています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	必要や希望に応じて行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	必要に応じて情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	他市の児童発達支援センターと連携し、助言を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	20%	80%		公園や外遊びの際に、地域の子どもたちと交流する機会がありますが、積極的に取り入れていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80%	20%	自立支援協議会には積極的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送り、必要に応じて電話で情報共有をしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	必要に応じて助言を行っています。	現在ペアレントトレーニング等の実施ができていないため、保護者の方からニーズや事業所の状況に合わせて検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約の際に重要事項説明書と合わせて説明を行っています。	不明点等のお問い合わせがあればその都度ご説明をさせていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	モニタリングの際に、支援計画の内容を説明し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談等があった際は、職員間で検討をして助言や支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		現在は保護者会等を開くことができていません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情については、苦情解決委員等を活用して迅速に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	定期的に「ポポロ通信」を発行しています。またホームページでも掲載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	厳重に管理し、外部で使用する際は、保護者等に同意を得て使用しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	児童、保護者に合った方法でコミュニケーションを図っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%		現在は地域住民を招待するような行事はありません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	40%	60%		策定したマニュアルを周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40%	60%		月に一度避難訓練を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	ご利用前に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	100%	0%	医師の指示書に基づいて対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	ヒヤリハット、アクシデントが起きた際は事業所内で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部の研修に参加し、虐待防止に努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	利用開始時の面談と支援計画の作成時に説明を行っています。また支援計画にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。